



DEEBOT Y1 PLUS DEEBOT Y1 PRO PLUS

取扱説明書/Instruction Manual

取扱説明書JA | P03

Instruction ManualEN | P29

安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、すべての注意事項をお読みください。この取扱説明書は保管してください。

1. この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していません。
2. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテーブルクロスなどは床から持ち上げてください。
3. 掃除する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。段差に置いた囲いにつまずかないように注意してください。
4. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
5. ご使用環境で電源の電圧が、ドッキングステーションに記載されている電圧と一致していることを確認してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品は、屋外使用、商業または産業用途での使用を想定していません。

7. メーカーが提供する純正の充電式バッテリーおよびドッキングステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
8. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
9. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境（-5℃未満または40℃超）では使用しないでください。
11. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
12. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
13. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
14. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
15. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
16. 燃えている、または煙が出ている物体（タバコ、マッチ、熱い灰など）を本製品に吸わせないでください。発火の原因となります。
17. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
18. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品やドッキングステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。
19. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
20. ドッキングステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。

21. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品やドッキングステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあった場合は、使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
22. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
23. ドッキングステーションの清掃や保守作業前には、電源コードをコンセントから外す必要があります。
24. 本製品を処分する場合は、本製品をドッキングステーションから外して電源スイッチをオフにしてからバッテリーを取り外してください。
25. 本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
26. 使用済みのバッテリーは、各自治体の指示に従って廃棄するようにしてください。
27. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
28. 長期間ドッキングステーションを使用しない時は、電源コードをコンセントから外してください。
29. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。
Ecovacs Robotics Co.,Ltd は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
30. ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
31. 長期間にわたりロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、ドッキングステーションから外して保管してください。
32. **警告：**バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプターCH2319を必ず使用してください










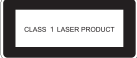
CH2319に適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数8個、最大公称電圧DC14.4V、定格4,800mAhです。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。

高周波(RF)曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を20 cm以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

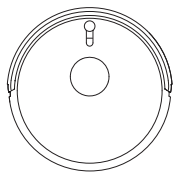
デバイスの更新

一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、絶対ではありません。一部のデバイス、特に発売から3年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

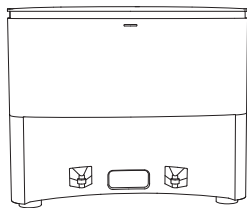
	短絡防止の安全絶縁変圧器。
	スイッチモード電源。
	屋内使用専用。
	直流。
	交流。
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性。
	遅延ミニチュアヒューズリンク。
	二次装置
	クラス1レーザー製品。

1.パッケージ内容

1.1 パッケージの内容



ロボット

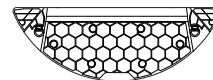


自動ゴミ収集ステーション

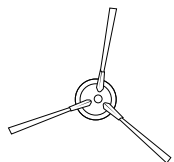


洗えるモップパッド

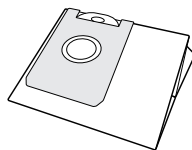
Y1 PLUS*1
Y1 PRO PLUS *3



モップパッドプレート

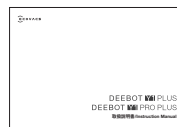


サイドブラシ



ダストバッグ

Y1 PLUS*1
Y1 PRO PLUS *3



取扱説明書

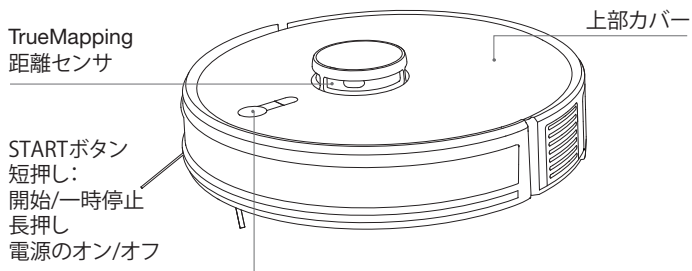


ネジバッグ

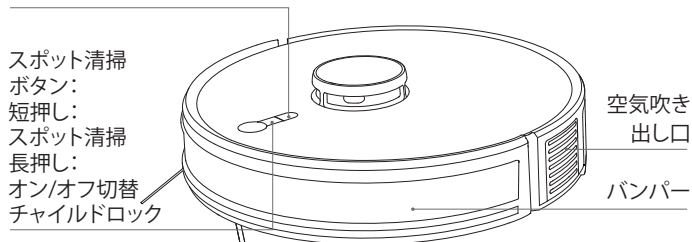
注: 図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。
製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

1.2 製品の図

ロボット

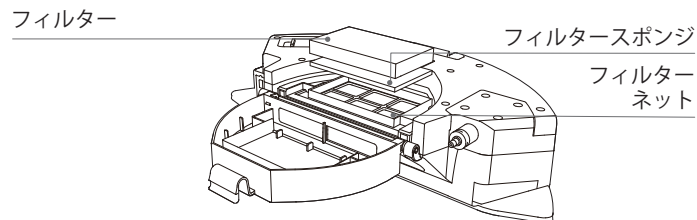
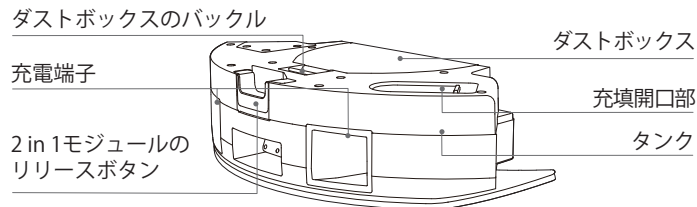


充電ボタン：
ショートプッシュ：充電に移動
長押し：リセット

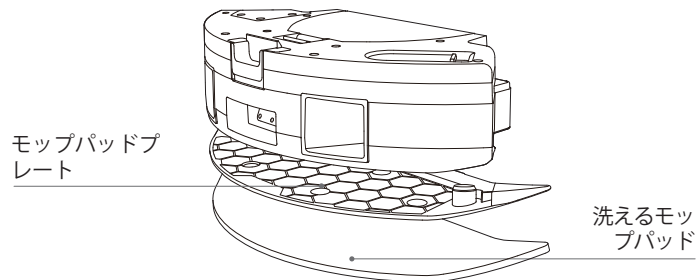


- ・チャイルドロックモードでは、ボタンやスマートスピーカーが無効になり、お子様の誤操作による危険を防止します。
- ・工場設定の復元：充電ボタンを長押しして、10～15秒間待ちます。

2 in 1モジュール



モップパッドモジュール



底面図

落下防止センサー

ユニバーサルホ
イール

カーペットセンサー

落下防止センサー

メインブラシリ
ースボタン

駆動ホイール

モップパッドモジ
ュールの取り付け
ポート

サイドブラシ

メインブラシ

自動ゴミ収集ステーション

トップカバー

ダストバッグ

LEDインジケ
ーター

ダストバッグ
開口部

ビジュアルダス
ト排出チューブ

ダスト回収ポート

充電端子

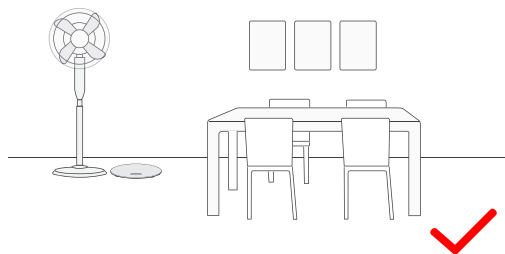
1.3 センサー

名前	機能の説明
TrueMapping 距離センサ	レーザー測距測定により反射の時間差によってロボットと周囲の距離を測定することで、ロボットの移動中に周囲の物体に合わせてマッピングできます。検出距離 8m。
落下防止センサー	赤外線測距により、下部の赤外線センサーによってロボットの底面と床面の間の距離を検出し、前方に階段がある場合、ロボットは前進しません（例：白の床面の高さは30 mmを超えています）。または、検知された距離が設定済みの距離を超えないようにすることで落下を防ぎます。
カーペットセンサー	超音波プローブは、周波数300kHzの超音波を発することができます。超音波のエネルギーはカーペットに吸収されます。反射されたエネルギーがしきい値より低い場合、ロボットはカーペットの存在を認識します。
衝突防止センサー	送信された信号が障害物によってブロックされると、信号受信機は信号を受信できなくなります。この原理により、デバイスは障害物に衝突するときに障害物を回避します。

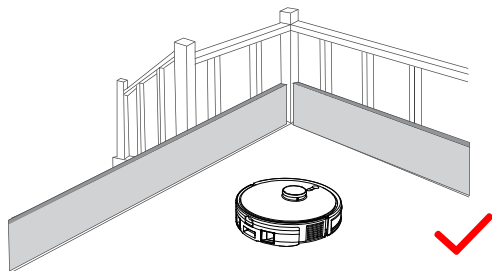
2. 清掃運転前の注意

2.1 クリーニング前の注意事項

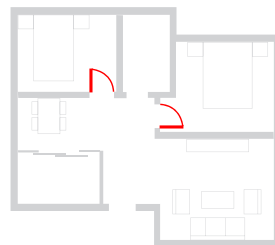
清掃する範囲を片付けて椅子などの家具を適切な場所に置いてください。



段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。



初めてご利用いただく際には、ROBOTが家の中を十分に探索できるように、すべての部屋のドアが開いていることを確認してください。



清掃効率を上げるため、コード、衣類、スリッパなど、床の上の物を片付けてください。



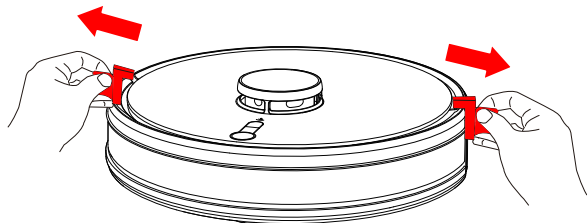
縁に飾り房の付いた敷物の上で本製品を使用する場合は、敷物の端を下に折り込んでください。



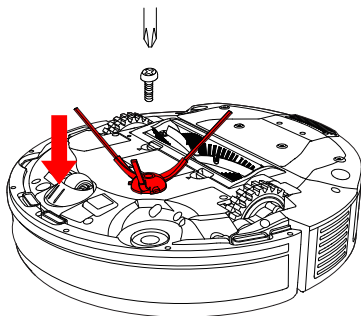
廊下などの狭い場所に立たないでください。また、カメラを遮らないようにしてください。

2.2 クイックスタート

*製品を使用する前に、すべての保護材を取り除いてください。



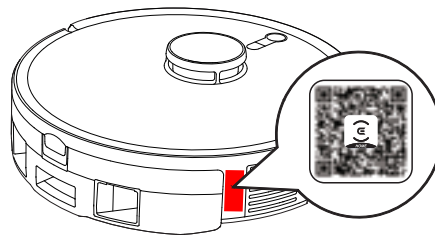
* 製品を使用する前に、ドライバーとネジをネジパックから取り出してサイドブラシを取り付けてください。



2.3 ECOVACS HOMEアプリのダウンロードと接続

利用可能なすべての機能を利用するため、ECOVACS HOMEアプリを使用してロボットを制御することをお勧めします。

方法1: ロボットまたは取扱説明書のQRコードをスキャンし、アプリをダウンロードします。



方法2: ECOVACS HOMEを検索し、アプリをダウンロードします。



Wi-Fi経由でロボットとアプリを接続します。

注:

1. ロボットは完全に充電され、オンになっている必要があります。
2. Wi-Fiインジケーターが点灯しています。
3. モバイルネットワークをオフにします。

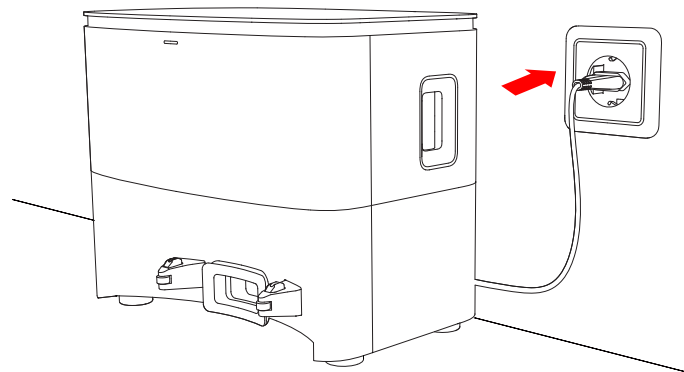
Wi-Fiネットワークの要件:

- 2.4GHzまたは2.4/5GHz混合ネットワークを使用している。
- ルーターが802.11b/g/nおよびIPv4プロトコルをサポートしている。
- VPN(仮想プライベートネットワーク)またはプロキシサーバーは使用しない。
- 隠しネットワークは使用しない。
- WPAおよびWPA2でTKIP、PSK、AES/CCMP暗号化を使用する。
- WEP EAP(エンタープライズ認証プロトコル)はサポートされていない。
- 北米ではWi-Fiチャンネル1-11、北米以外ではチャンネル1-13を使用する(地域の規制機関を参照)。
- ネットワーク中継機/リピーターを使用している場合、ネットワーク名(SSID)とパスワードはプライマリネットワークと同じにする。
- ルーターでWPA2を有効にする。

遠隔起動、音声操作、2D/3Dマップの表示/制御設定、パーソナライズされた清掃(製品によって異なる)などのインテリジェント機能を実行するには、定期的に更新されているECOVACS HOMEアプリをダウンロードして使用する必要があります。弊社がお客様の基本情報および必要な情報を処理し、本製品をお客様が操作できるようにするには、お客様は事前に弊社のプライバシーポリシーおよびユーザー契約に同意する必要があります。お客様が弊社のプライバシーポリシーおよびユーザー契約に同意しない場合、前述のインテリジェント機能の一部は、ECOVACS HOMEアプリケーションで実行できなくなります。ただし、この場合でも、本製品の基本機能は手動操作でご利用いただけます。

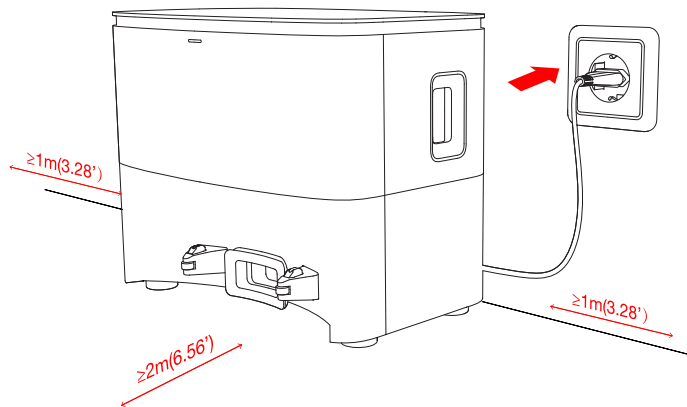
2.4 ロボットの充電

① 電源コードを接続します。



2 自動ゴミ収集ステーションを設置します

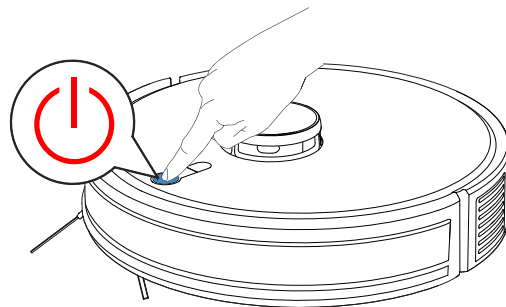
ドッキングステーションは平らな地面の壁に立てかけて配置し、
(左右に1m)から(前面に2m)の範囲にアイテムを配置しないでください。



* ロボットの機能をフル活用するには、ステーションを硬い床に置くことをお勧めします。

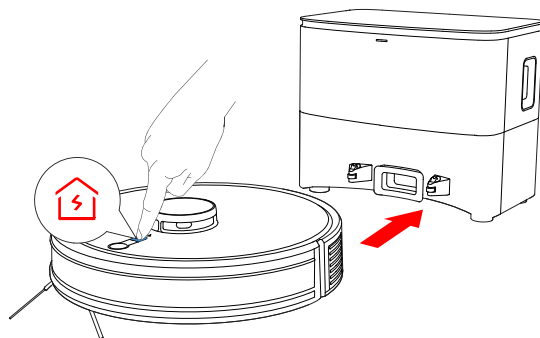
3 電源オン

開始ボタンを3秒間長押ししてロボットをオンにします。



4 充電

充電ボタンを短押しすると、ロボットが充電に戻ります。



* 清掃は、ステーションから開始するようにしてください。清掃中はステーションを動かさないでください。

2.5 清掃の開始

1 マップの作成

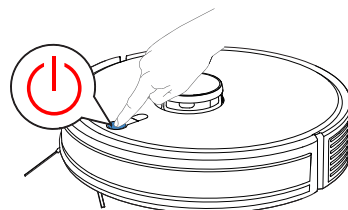
マップを初めて作成する場合は、ROBOTの後を歩きながら小さな障害物をどけてください。例えば、ロボットが家具の下で引っかかったときなどです。次の解決策を参考にしてください。以下のように問題を解決します。

- ①可能であれば家具を持ち上げます
- ②ロボットが入らないように、家具の底面に覆いをかけます。

* アプリを使用してバーチャルボーダーを設定し、ロボットが入らないようにします。

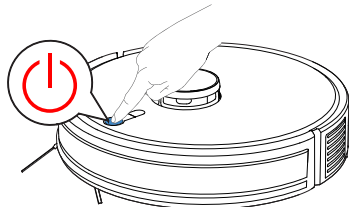
2 清掃の開始

最初に掃除をする前に、ロボットが自動ゴミ収集ステーション内にあり、完全に充電されていることを確認してください。⏻ を短押しして清掃を開始し、同時にマップを作成します。




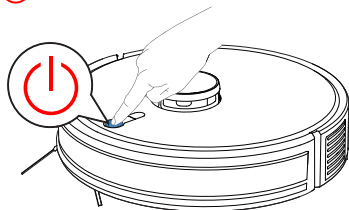
3 一時停止

ロボットが動作しているときに、 を短押しすると一時停止します。




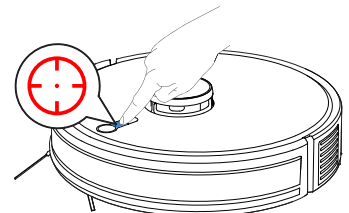
4 起動

ロボットが数分間一時停止すると、インジケータライトが消灯します。起動するには、 を短押しします。



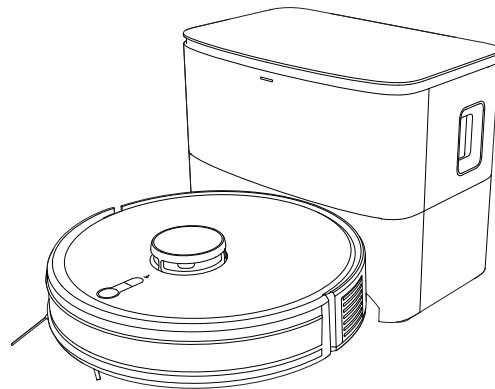
5 スポット掃除

キー  を短押しすると、その位置を中心として1.5 * 1.5 mの領域を清掃します。



6 ダスト回収

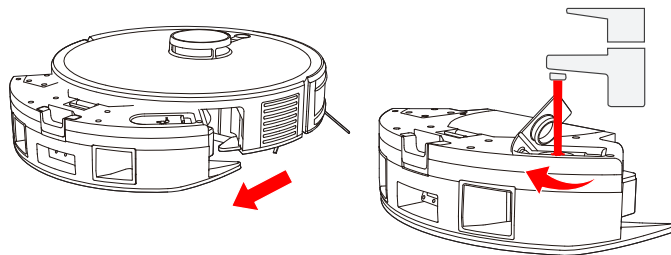
ロボットは自動的に自動ゴミ収集ステーションに戻り、ゴミを収集します。



2.6 モップ掛けの開始

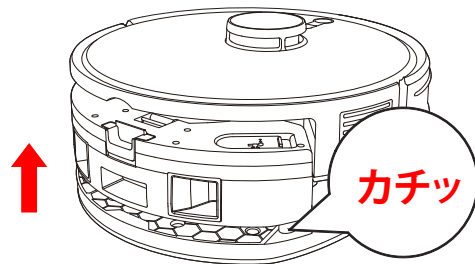
① モップ掛けの追加

2 in 1 モジュールを取り出し、充填開口部を開いて水を追加します。




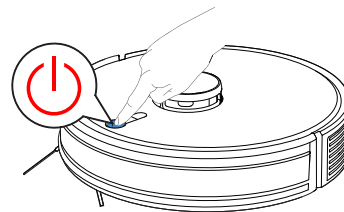
② モップパッドとモップパッドモジュールを取り付けます。

モップパッドの白い側をモップパッドプレートの取付テープに貼り付けます。モップパッドプレートの突き出た部分を取り付けポートに挿入します。カチッという音がして、正しく取り付けられたことを示します。



③ モップ掛けの開始

 を短押しするとモップ掛けが開始されます。



注:

洗えるモップパッドを頻繁に取り除かないでください。

布やその他の物を使ってモッピングパッドプレートを傷つけないでください。

ロボットがモップを終えた後、“水タンク”を空にしてください。

3. メンテナンス

3.1 メンテナンス頻度

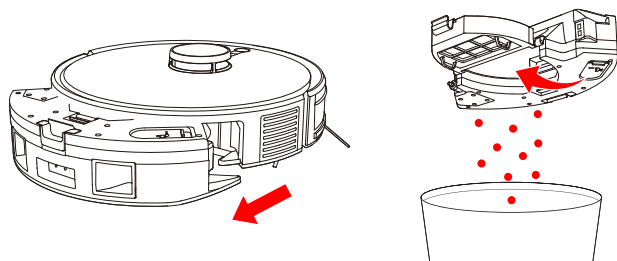
ロボットの性能を最高の状態で維持するために、次の頻度でメンテナンス作業や部品の交換を実行してください。

部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるモップパッド	毎回の清掃ごと	1～2ヵ月ごと
ダストバッグ	/	アプリの通知に応じて
サイドブラシ	2週ごと	3～6ヵ月ごと
メインブラシ	毎週	6～12ヵ月ごと
フィルター	毎週	3～6ヵ月ごと
TrueMapping距離センサ ユニバーサルホイール 落下防止センサー バンパー ロボットの充電端子 自動ゴミ収集ステーションの充電端子	毎週	/
自動ゴミ収集ステーション	毎週	/

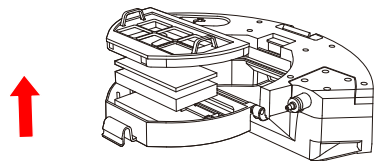
アドバイス: アクセサリーを購入する場合は、ECOVACS HOMEアプリストアまたは次のサイトにアクセスしてください: <https://www.ecovacs.com/global>

3.2 ダストボックスのメンテナンス

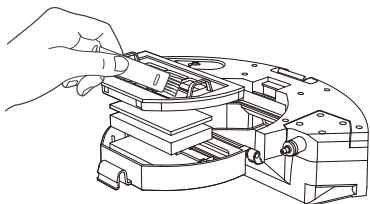
1



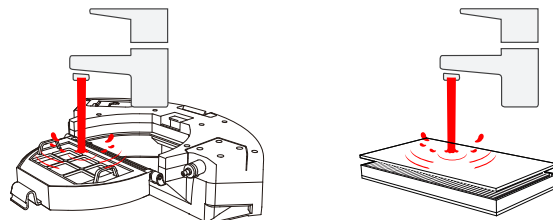
2



3



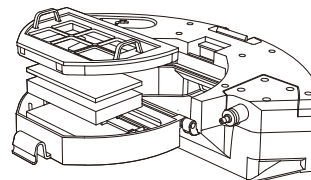
4



注:

フィルターを指やブラシで清掃しないでください。

5



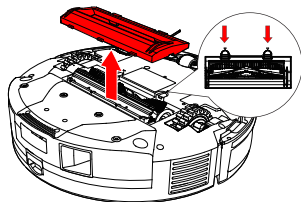
注: 使用する前にフィルターを完全に乾かしてください。

その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOMEアプリ、または以下をご覧ください。
<https://www.ecovacs.com/global>

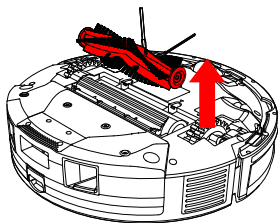
3.3 メインブラシとサイドブラシのメンテナンス

メインブラシ

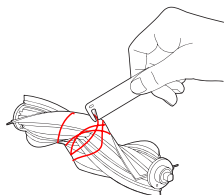
1



2

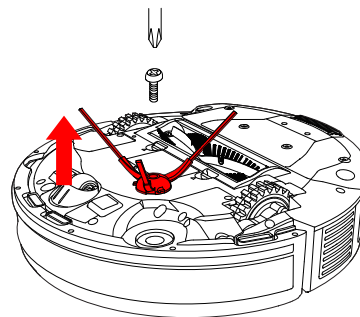


3

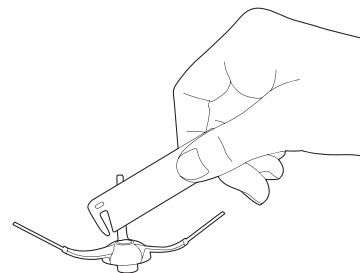


サイドブラシ

1

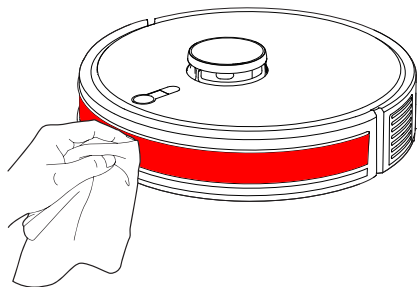


2

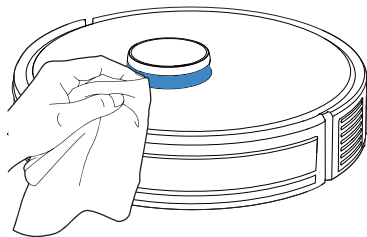


3.4 その他の部品のメンテナンス

バンパー

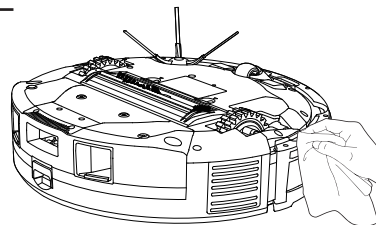


TrueMapping 距離センサ

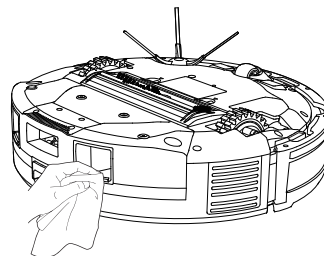


注: 清潔な乾いた布で部品を拭いてください。クリーニングスプレーや洗剤は使用しないでください。

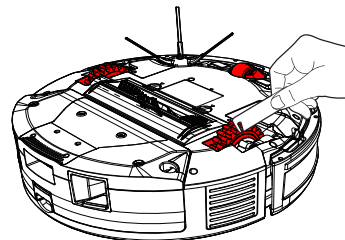
落下防止センサー



充電端子



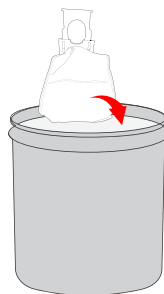
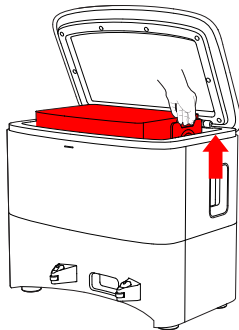
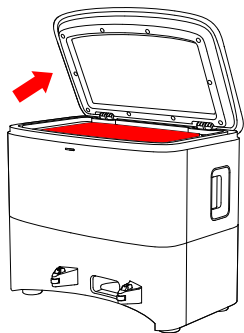
ホイール



注: 充電端子を濡れた布で掃除しないでください。

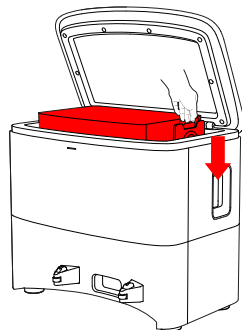
3.5 ダストバッグのメンテナンス

1

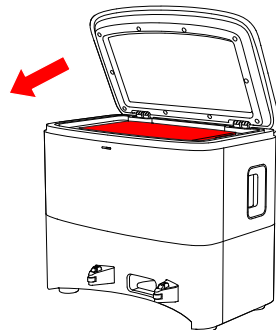


* ハンドルを握ってダストバッグを引き出すことにより、ほこりの漏れを効果的に防止できます。

2

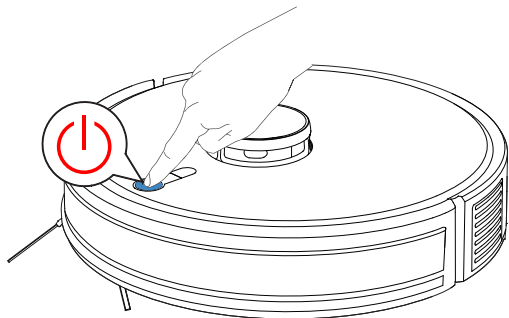


3



3.6 保管

⏻ を5秒間長押しして、ロボットの電源をオフにします。
保管する前に、ロボットを完全に充電し、スイッチをオフにしてください。
バッテリーの過放電を防ぐため、**1.5ヵ月**ごとに再充電してください。



! 電源がオフのときは、ロボットを充電できません。

* バッテリーが過放電している場合や長期間使用していない場合は、ロボットが充電されない可能性があります。ECOVACSにお問い合わせください。お客様ご自身で分解しないでください。

4.トラブルシューティング

番号	問題	考えられる原因	解決方法
1	ロボットがアプリに接続できない。	ルーターのユーザー名とパスワードが正しくありません。	ルーターネットワークを設定し、ルーターの「ユーザー名」と「パスワード」が正しいことを確認してください。
		ロボットがルーターのネットワーク信号範囲内にありません。	ロボットがルーターのネットワーク信号範囲内にあることを確認してください。
		ロボットがコンフィギュレーション状態ではありません。	ロボットが電源に接続され、電源が入っていることを確認してください。充電ボタンとスポットクリーニングボタンを同時に3秒間押します。ロボットは、音声プロンプトが聞こえると混乱状態になります。
		2.4 GHzまたは2.4/5 GHzネットワークを使用していない。	現在、ロボットは5Gネットワークをサポートしていません。2.4 GHzまたは2.4/5 GHzを選択してください。
		間違ったアプリをダウンロードしました。	コードをスキャンするか、ストアでECOVACS HOMEアプリをダウンロードしてください。
2	マップが失われた。	ロボットを手動で動かすと、マップが失われる可能性があります。	ロボットを自動ゴミ収集ステーションに動かして復元を試みてください。アプリマップストレージに保存されているマップを見つけ、「マップを使用」を押して復元します。上記の方法でこの問題が解決できない場合は、マッピングを再度開始してください。
3	アプリでマップを作成できません。	ロボットが自動ゴミ収集ステーションから動作を開始しない。	ロボットは自動ゴミ収集ステーションから清掃を開始する必要があります。
		ロボットを動作中に動かした。	動作中はロボットを動かさないでください。
		清掃が完了していません。	清掃が終了したら、ロボットを自動ゴミ収集ステーションに戻すことができます。
4	自動ゴミ収集ステーションに戻れない。	自動ゴミ収集ステーションの位置が正しくありません。	ユーザーマニュアルの「ロボットの充電」の章に従って、自動ゴミ収集ステーションを正しく設置してください。

番号	問題	考えられる原因	解決方法
		自動ゴミ収集ステーションの電源がオフになっているか、人が動かしました。	自動ゴミ収集ステーションの電源がオンになっていることを確認し、自動ゴミ収集ステーションを動かさないでください。
		ロボットが自動ゴミ収集ステーションから動作を開始しない。	ロボットは、自動ゴミ収集ステーションから清掃を開始するようにしてください。
		充電ルートがブロックされている。例えば、自動ゴミ収集ステーションがある部屋のドアが閉じている場合など。	充電ルートに遮蔽物がないようにします。
5	ロボットは清掃が完了する前に自動ゴミ収集ステーションに戻ってしまう。	部屋が広い場合、ロボットが再充電のために戻る必要があります。	連続クリーニングを有効にしてください。詳細については、アプリのガイドに従ってください。
		特定の領域が家具や囲いでブロックされていて、ROBOTが到達できない。	家具や小さな物を適切な場所に置いて、清掃する範囲を片付けてください。
6	ロボットを充電できない。	自動ゴミ収集ステーションが電源に接続されていない。	自動ゴミ収集ステーションが電源に接続され、インジケーターがオンになっていることを確認します。
		バッテリー温度が高すぎるか低すぎる。	ロボット充電プレートと自動ゴミ収集ステーション充電プレートが完全に接触していることを確認します。オン/オフキーが点滅しています。ロボット充電プレートと自動ゴミ収集ステーション充電プレートが汚れていないか確認し、「部品のメンテナンス」を参照して清掃してください。
		バッテリー温度が高すぎるか低すぎる。	ロボットの充電と操作は0〜40度の温度で行ってください。
		長時間使用しなかったために、バッテリーが過放電した可能性があります。	製品は頻繁に使用してください。長時間使用していないために充電できない場合は、アフターセールスサービスにお問い合わせください。
7	清掃中の異音。	サイドブラシとメインブラシがもつれています。ダストボックスとフィルターが詰まっています。	サイドブラシ、メインボックス、ダストボックス、フィルターなどは定期的に清掃することをお勧めします。
		ロボットが最大モードになっている。	標準モードに変更します。

番号	問題	考えられる原因	解決方法
8	ロボットが清掃中に動かない。	ロボットが床の上の何か（電気コード、カーテン、カーペットの縁など）と絡まっています。	本製品は絡まった物が外れるように動作します。絡まったものが外れない場合は、手で障害物を取り除いて再起動してください。
		床との隙間が本体と同じくらいの高さの家具の下でROBOTが動けなくなっている可能性がある。	囲いを置くか、ECOVACS HOMEアプリでバーチャルボーダーを設定してください。
9	ロボットが動作しているときに、次の問題が発生します。清掃経路が順序立っていない、清掃経路から逸脱する、繰り返し清掃する、狭い範囲が清掃されない。（一時的に清掃されていない広い領域がある場合、ロボットは自動的にその領域に後から個別に対応します）。	ワイヤー、スリッパ、その他の物が床に置かれていたため、ロボットの通常の動作に影響します。	清掃の前に、ワイヤーやスリッパなど、床にある物を片付けてください。清掃漏れの領域がある場合、ロボットは自律的にその領域に対応します。ロボットの動きを遮らないで（ロボットの移動や経路をブロックするなど）ください。
		ロボットが段差、敷居、ドアのストリップに乗り上げ、駆動ホイールが床面でスリップしたことが、家全体の環境に関するロボットの判断に影響しました。	この領域のドアを閉じて、個別に清掃することをお勧めします。清掃後、ロボットは開始地点に戻ります。安心してロボットをご利用ください。
		ワックスを塗って磨き上げた床や滑らかなタイルを清掃する場合、結果的に駆動ホイールと床の間の摩擦が低減する。	床用ワックスが乾いてから使用することをお勧めします。
		家の環境が異なるため、ロボットが入れない領域があります。	ロボットが入って清掃できるように、家の中を片付けることをお勧めします。
		TrueMappingレーザーモジュールが汚れているか、覆われています。	TrueMappingレーザーモジュールを清掃するか、覆っている物を取り除きます。

番号	問題	考えられる原因	解決方法
10	ロボットが戻っても自動ゴミ収集ステーションがゴミを収集できない。	自動ゴミ収集ステーションカバーが開いています。	自動ゴミ収集ステーションカバーを閉じます。
		ダストバッグが取り外されています。	ダストバッグを取り付け、自動ゴミ収集ステーションカバーを閉じます。
		ロボットを手動で自動ゴミ収集ステーションに移動させると、自動回収が起動しません。	ロボットを手動で動かさずに、自動的に自動ゴミ収集ステーションに戻るよう to してください。
		ECOVACS HOMEアプリで「応答不可時間」モードが有効になっている場合、ロボットが戻ってきたときに自動ゴミ収集ステーションが自動的にゴミを収集しません。	ECOVACS HOMEアプリの「応答不可時間」モードをキャンセルするか、手動でダスト回収を開始します。
		自動ゴミ収集ステーションが、ダスト回収効率の低下を検出しました。	ユーザーマニュアルの「メンテナンス」に従ってダストバッグを交換し、自動ゴミ収集ステーションカバーを閉じます。アプリが、ダストバッグが満杯になっていないことを通知する場合は、取り付け直してください。
		上記の考えられる理由が除外された場合、自動ゴミ収集ステーションのコンポーネントに異常がある可能性があります。	アフターセールスサービスにお問い合わせください。
11	ダスト回収に失敗しました。	自動ゴミ収集ステーションが、ダスト回収効率の低下を検出しました。	ユーザーマニュアルの「メンテナンス」に従ってダストバッグを交換し、自動ゴミ収集ステーションカバーを閉じます。アプリが、ダストバッグが満杯になっていないことを通知する場合は、取り付け直してください。
		ダストボックスの吹き出し口が詰まっています。	2 in 1モジュールを取り出し、ダストボックスの吹き出し口を清掃します。
12	自動ゴミ収集ステーションの内側が汚れています。	微粒子がダストバッグを通過し、自動ゴミ収集ステーションの内側に付着しています。	自動ゴミ収集ステーションの内側を清掃します。
		ダストバッグが壊れている。	ダストバッグを交換してください。

番号	問題	考えられる原因	解決方法
13	清掃時にほこりが漏れる。	ダストボックスの吹き出し口が詰まっています。	2 in 1モジュールを取り出し、ダストボックスの吹き出し口を清掃します。
14	ロボットのタンクが使用中に本来の場所から外れる。	タンクが正しく取り付けられていません。	ROBOTのタンクを取り付ける際に、カチッと音がしたことを確認してください。
15	駆動ホイールが停止する。	異物により駆動ホイールが停止する。	駆動ホイールを回したり押したりして、異物が巻き付いていないか、引っかかっているかを確認してください。異物があつた場合は、すぐに取り除いてください。この問題が解決しない場合は、サポートのためにカスタマーケアにお問い合わせください。
16	ロボットが連続清掃を実行しない。	ロボットが応答不可時間モードになっています。	応答不可時間モードでは、ロボットは連続清掃を実行しません。
		前回、ロボットが自動的に自動ゴミ収集ステーションに戻らなかった。	ロボットを手動で再充電するか、自動ゴミ収集ステーションに移動させる場合、連続清掃は実行されません。
17	タイマーを設定した時刻に自動清掃が行われない。	スケジューリングがキャンセルされている。	予約をリセットします。
		ロボットの電源が切れています。	ロボットを充電します。
		ロボットが応答不可時間モードになっています。	応答不可時間モードでは、ロボットはスケジュール清掃を実行しません。

上記の手順に従っても問題が解決しない場合は、アフターサービスにお問い合わせください。

5. 技術仕様

型番	DLX32
定格入力	20V === 1.2A
充電時間	4-5 時間
自動ゴミ収集ステーションモデル	CH2319
定格入力	100V~ 50-60Hz, 6.75A (ゴミ収集時) 0.65A (充電時)
定格出力	20V === 1.2A
レーザーLiDAR	5V=== 200 mA 940 nm

Wi-Fiモジュールの出力電力は100mW未満です。

注:本製品は品質向上のため技術仕様やデザイン仕様の変更を行う場合があります。
その他の付属品は以下でご覧いただけます。<https://www.ecovacs.com/global>.

Important Safety Instructions

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE

SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance can be used by children aged from 8 years and above and persons with reduced physical, sensory or mental capabilities or lack of experience and knowledge if they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance in a safe way and understand the hazards involved. Children shall not play with the Appliance. Cleaning and user maintenance shall not be made by children without supervision.
2. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
3. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
4. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
5. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the Docking station.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Use only the original rechargeable battery and Docking Station (Auto-Empty Station) provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
8. Do not use without dust bin and/or filters in place.
9. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
10. Do not use in extremely hot or cold environments (below -5°C/23°F or above 40°C/104°F).
11. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
12. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
13. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
14. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or any item that may clog the Appliance.
15. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
16. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
17. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
18. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or Docking station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
19. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.

20. Do not use the Docking station if it is damaged. The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.
21. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or Docking station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
22. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
23. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the Docking station.
24. Remove the Appliance from the Docking station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
25. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
26. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
27. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
28. When not using the Docking station for a long period of time, please unplug it.
29. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Robotics Co., Ltd. cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
30. The Robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the Robot's battery, please contact Customer Service.
31. If the Robot will not be used for a long time, power OFF the Robot for storage and unplug the Docking station.
32. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2319 provided with the Appliance.

The lithium battery type suitable for CH2319 is Max. 8 cells, max. nominal voltage DC14.4V, rated capacity 4,800mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.










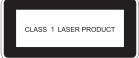
To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

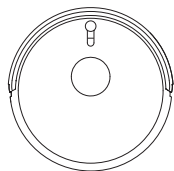
Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

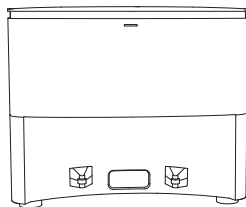
	Short-circuit-proof safety isolating transformer.
	Switch mode power supply.
	For indoor use only.
	Direct current.
	Alternating current.
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port.
	Time-lag miniature fuse-link.
	Class II equipment.
	CLASS 1 LASER PRODUCT.

1. Package Contents

1.1 Package Content



Robot

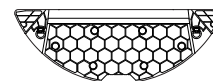


Auto-Empty Station

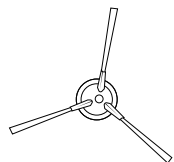


Washable Mopping Pad

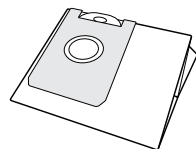
Y1 PLUS*1
Y1 PRO PLUS *3



Mopping Pad Plate



Side Brush



Dust Bag

Y1 PLUS*1
Y1 PRO PLUS *3



Instruction Manual

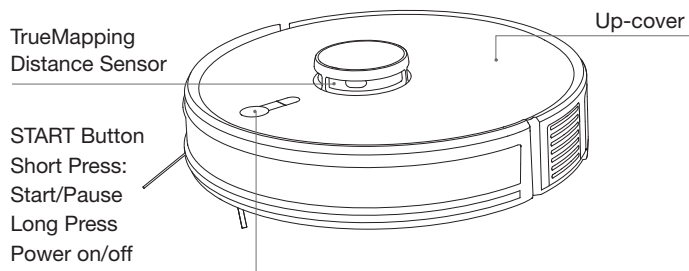


Screw Bag

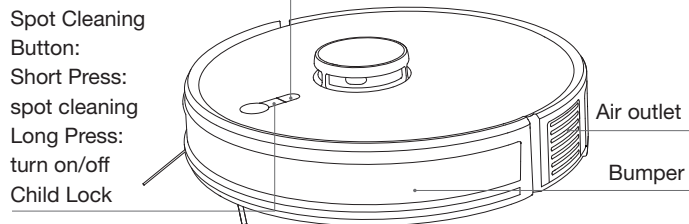
Note: Figures and illustrations are for reference only and may differ from actual product appearance.
Product design and specifications are subject to changes without notice.

1.2 Product Diagram

Robot

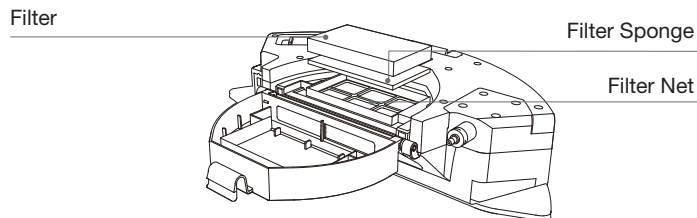
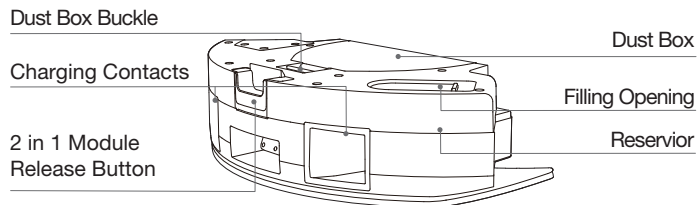


Charging Button:
Short Press: Go To Charge
Long Press: Reset

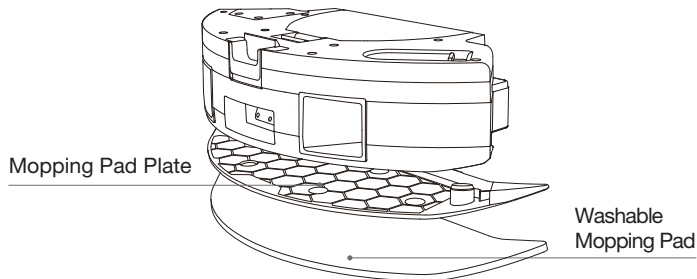


- In Child Lock mode, buttons and smart speakers are disabled, preventing potential dangers from accidental operations by children.
- Restore to factory settings: Long press the charging Button for 10-15s.

2 in 1 Module



Mopping Pad Module



Bottom View

Anti-drop Sensors

Universal Wheel

Carpet Detection
Sensor

Anti-drop
Sensors

Main Brush
Release Button

Driving Wheels

Installation Port
for Mopping Pad
Module

Side Brush

Main Brush

Auto-Empty Station (AES)

Top Cover

Dust Bag

LED Indicator

Dust Bag
Opening

Dust Collection
Port

Charging Contacts

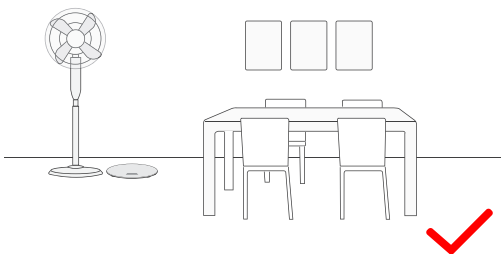
1.3 Sensors

Name	Functional Description
TrueMapping Distance Sensor	With Laser Ranging-measuring the distance between Robot and surroundings through the time difference of reflection, it can map according to the objects around while Robot is moving. Detection of 8m.
Anti-drop Sensor	With Infrared Ranging detecting the distance between the bottom of Robot and ground by Infrared Sensor at the bottom, Robot will not move forward when there are stairs in front (For example: White ground height greater than 30mm.) or the identified distance exceeds the preset one, realizing the Anti-drop.
Carpet Detection Sensor	The ultrasound probe can emit ultrasonic waves with a frequency of 300KHZ. The energy of the ultrasonic waves is absorbed by the carpet. If the reflected energy is below the threshold, the Robot recognizes the presence of the carpet.
Anti-collision Sensor	When the transmitted signal is blocked by an obstacle, the signal receiver will not be able to receive the signal. With this principle, the device will avoid obstacles when colliding with them.

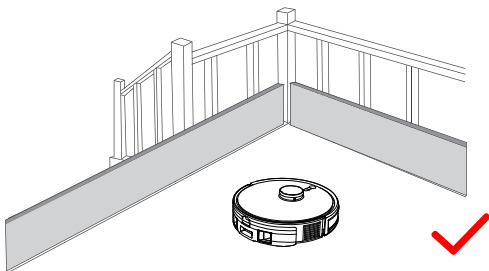
2. Operations

2.1 Notes Before Cleaning

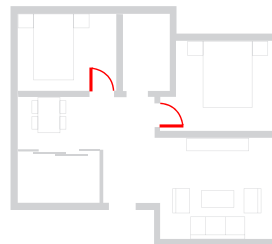
Tidy up the area to be cleaned by putting furniture, such as chairs, in their proper place.



It may be necessary to place a physical barrier at the edge of a drop to stop the unit from falling over the edge.



During the first use, make sure each room door is open to help Robot fully explore your house.



Put away objects including cables, cloths and slippers, etc. on the floor to improve the cleaning efficiency.



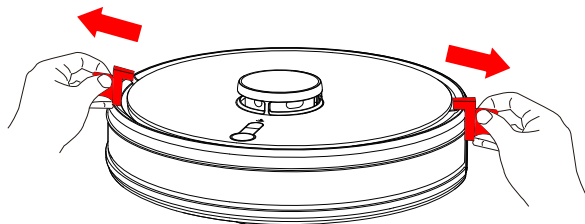
Before using the product on a rug with tasseled edges, please fold the rug edges under.



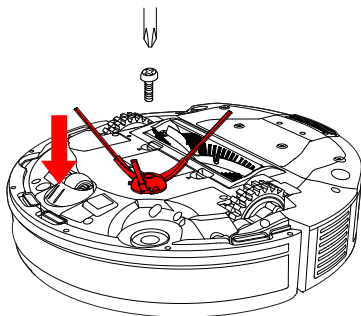
Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, and make sure not to block the camera.

2.2 Quick Start

* Before using the product, please remove all protective materials.



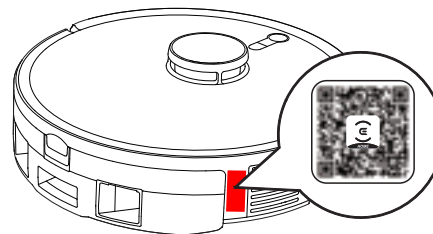
* Before using the product, please take the screwdriver and screws out of the screw pack for installation.



2.3 Download and Connect ECOVACS HOME App

To enjoy all available features, it is recommended to control your Robot via the ECOVACS HOME App.

Method 1: Scan the QR code on the Robot or Instruction Manual to download the App.



Method 2: Search the ECOVACS HOME to download the App.



Connect Robot with App via Wi-Fi.

Note:

1. Robot should be fully charged and turned on.
2. Wi-Fi indicator is on.
3. Turn off the mobile network.

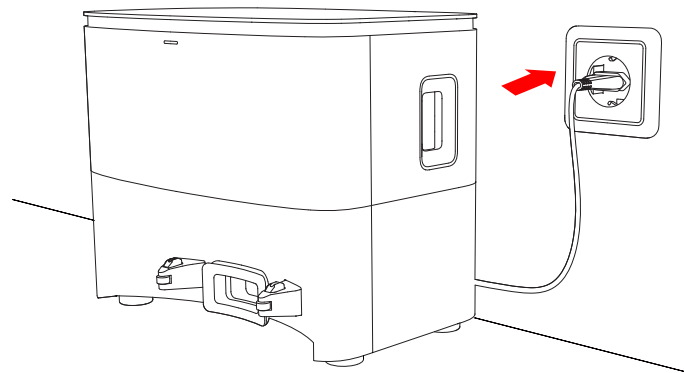
Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

Please be aware that the realization of intelligent functions such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on different products) requires users to download and use ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement before we can process some of your basic and necessary information and enable you to operate the product. If you do not agree with our Privacy Policy and User Agreement, some of the aforementioned intelligent functions cannot be realized through ECOVACS HOME App, but you can still use the basic functions of this product for manual operation.

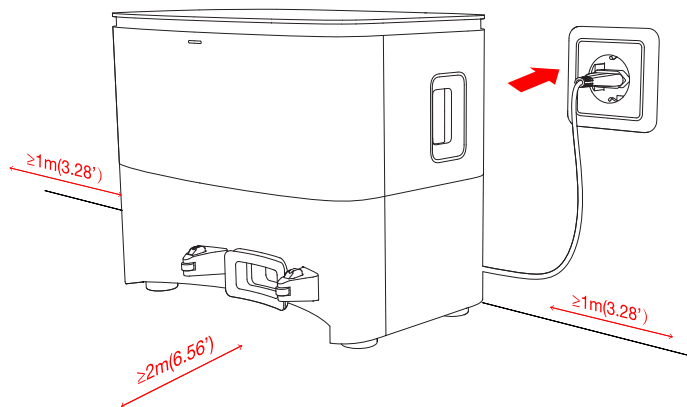
2.4 Charging Robot

1 Connect the Power Cord.



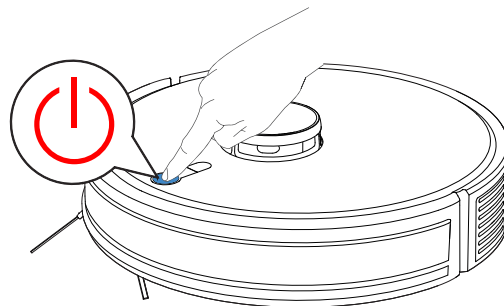
2 Place the Auto-Empty Station

The Docking station should be placed against a wall on a flat ground, and no items should be placed with in a range of (1m to left and right sides) and (2m to the front).



3 Power ON

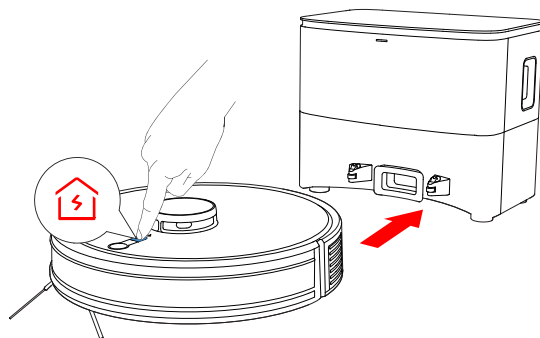
Long press the START Button for 3 seconds to turn on the Robot.



* It is recommended to place the Station on the hard floor to experience complete functions of the Robot.

4 Charging

Short press the Charging button to make Robot return for charging.



* It is recommended that Robot start cleaning from the Station.
Do not move the Station while cleaning.

2.5 Start Cleaning


1 Create a map

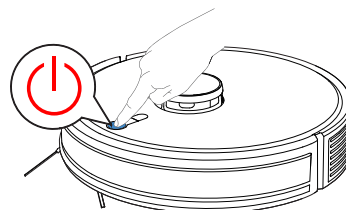
When creating a map for the first time, please follow ROBOT to help eliminate some minor issues. For example, the Robot may get stuck under low furniture. Take following solutions for reference. Solve the issue as below.

- ① Lift up the furniture if possible
- ② Cover the bottom of the furniture, to prevent Robot from entering.


* Set up Virtual Boundary via the App to prevent the Robot from entering.

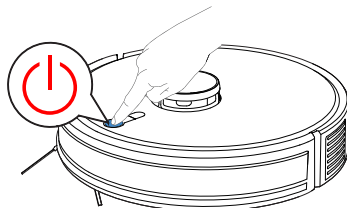
2 Start Cleaning

Before first vacuuming, please make sure the Robot is in the Auto-Empty Station and fully charged. Short press  to start cleaning and create a map at the same time.




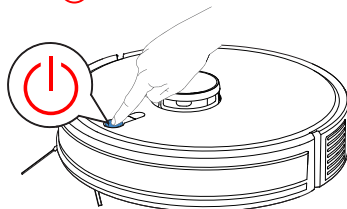
3 Pause

When Robot is working, short press  to pause.




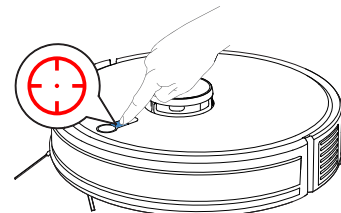
4 Wake up

The indicator light will go out after the Robot is paused for a few minutes. Short press  to wake it up.



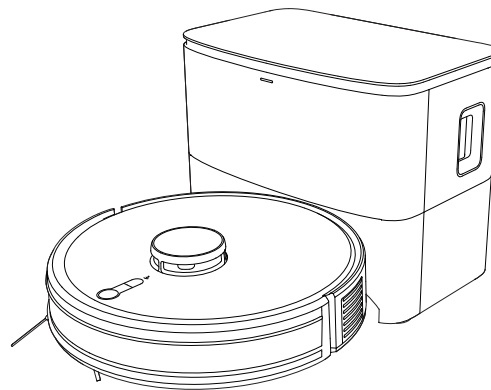
5 Spot Cleaning

Short press  key, it will clean the area 1.5*1.5m with its position as center.



6 Dust collection

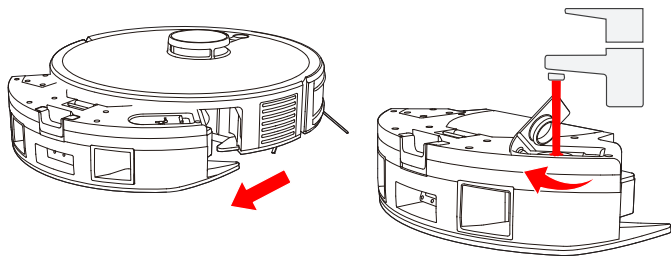
The Robot will automatically return to the Auto-Empty Station to collect dust.



2.6 Start moping

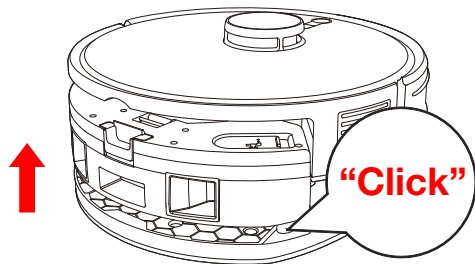
1 Add Water

Take out the 2 in 1 Module, open the Filling Opening and add water.



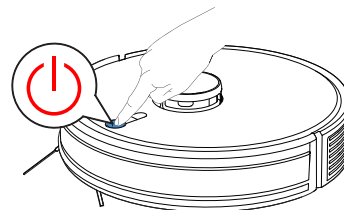
2 Install Mopping Pad and Mopping Pad Module

Stick the white side of the Mopping Pad onto the velcro of the Mopping Pad Plate. Insert the protruded part of the Mopping Pad Plate into the installation port. The sound of Click indicates proper installation.



3 Start mopping

Short press  to start mopping.



Notes:

Do not frequently remove Washable Mopping Pad.

Do not use a rag or any other object to scratch the Mopping Pad Plate.

Please empty the reservoir after Robot finishes mopping.

3. Maintenance

3.1 Maintenance frequency

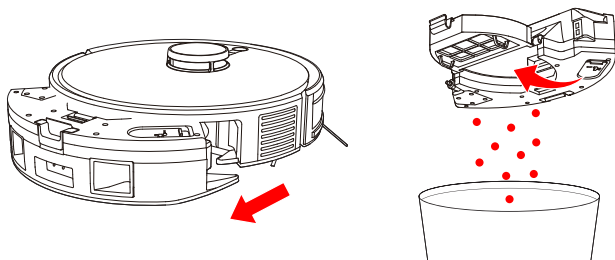
To keep Robot running at peak performance, perform maintenance tasks and replace parts with the following frequencies:

Part	Maintenance frequency	Replacement frequency
Washable Mopping Pad	every time cleaning	every 1-2 months
Dust Bag	/	follow APP remind
Side Brush	every 2 weeks	every 3-6 months
Main Brush	every week	every 6-12 months
Filter	every week	every 3-6 months
TrueMapping Distance Sensor Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts	every week	/
Auto-Empty Station	every week	/

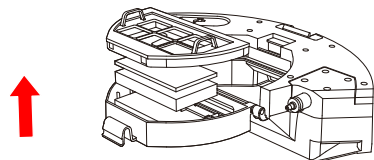
Warm note: If you want to buy accessories, please visit ECOVACS HOME App store or: <https://www.ecovacs.com/global>

3.2 Maintain Dust Box

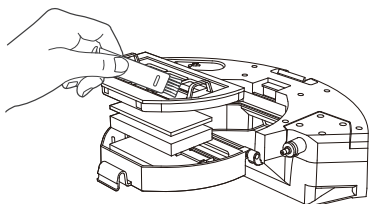
1



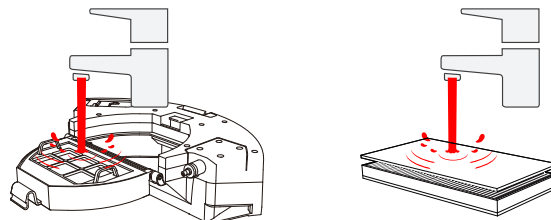
2



3



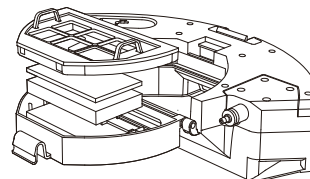
4



Note:

Do not use finger or brush to clean the filter.

5

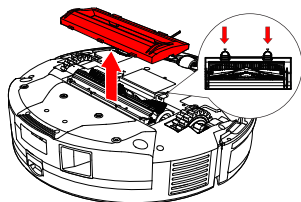


Note: Completely dry the filter before use.
Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at
<https://www.ecovacs.com/global>

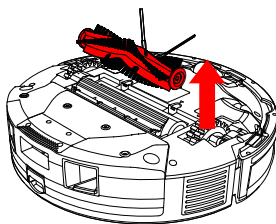
3.3 Maintain Main Brush and Side Brush

Main Brush

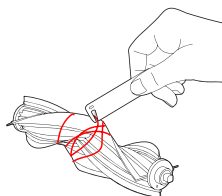
1



2

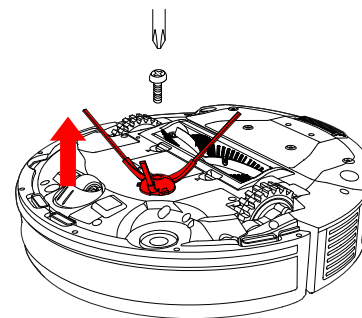


3

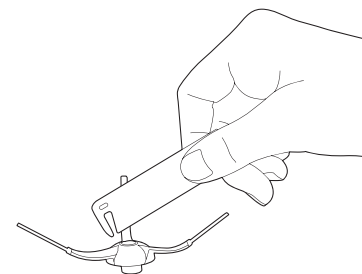


Side Brush

1

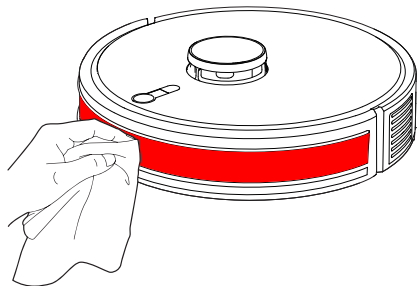


2

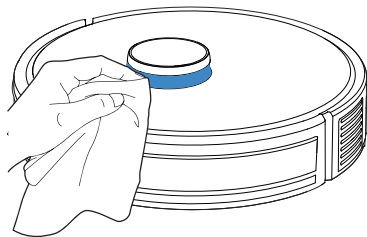


3.4 Maintain Other Parts

Bumper

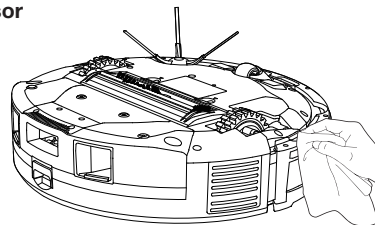


TrueMapping Distance Sensor

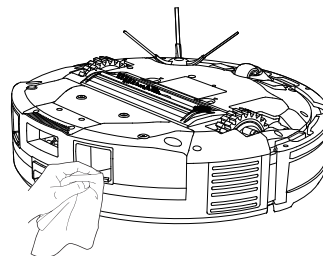


Note: Wipe the components with a clean, dry cloth. Avoid using cleaning sprays or detergents.

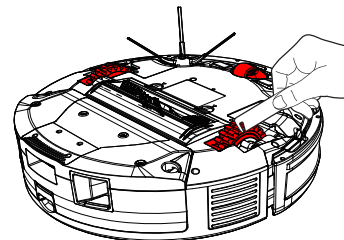
Anti-drop Sensor



Charging Contacts



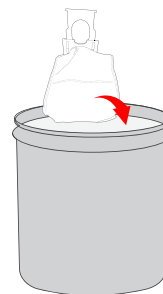
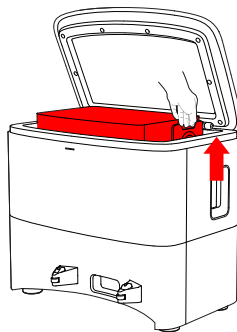
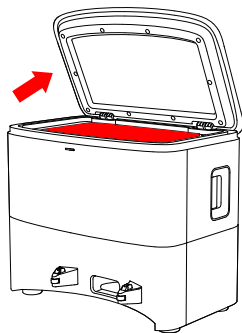
Wheels



Note: Do not clean Charging Contacts with wet cloths.

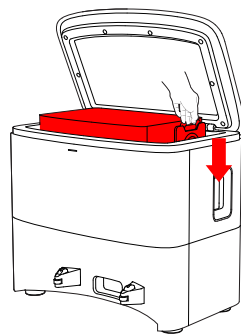
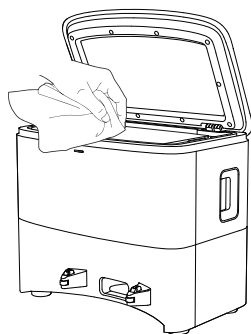
3.5 Maintain Dust Bag

1

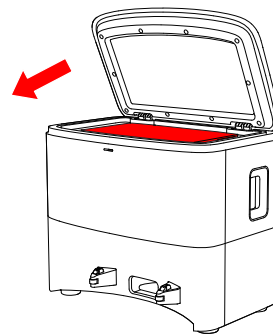


* Hold the Handle to lift out the Dust Bag, which can effectively prevent dust leakage.


2

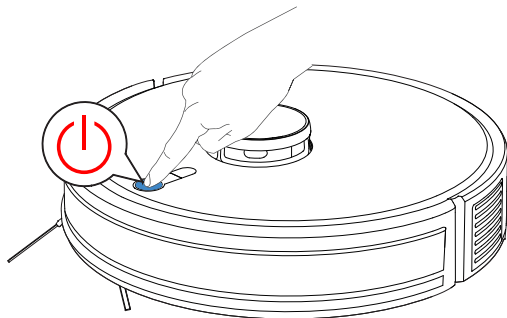



3



3.6 Storage

Long press  for 5 seconds to power off the Robot.
Please fully charge and switch OFF the Robot before storage.
Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharge.



 Robot can't be charged when the power is turned off.

* If the battery is over-discharged or not used for a long time,
the Robot may not be charged. Please contact ECOVACS for help.
Do not disassemble by yourself.

4. Troubleshooting

NO.	Issues	Possible Causes	Solutions
1	Robot can't connect to APP.	The router user name and password are incorrect.	Configure the router network and make sure that the "user name" and "password" of the router are correct.
		The Robot is not within the network signal coverage of the router.	Ensure the Robot is within the network signal coverage of the router.
		Robot is not in the configuration state.	Make sure Robot is connected to the power supply and turned on. Press Charging Button and Spot Cleaning Button at the same time for 3 seconds. Robot will enter the configuration state when you hear a voice prompt.
		Not use 2.4GHz or 2.4/5GHz network.	The Robot doesn't support 5G network at present. Please choose 2.4GHz or 2.4/5GHz.
		Download the wrong APP.	Please scan the code or download the ECOVACS HOME App in store.
2	Map lost.	It is possible to lose the map if move the Robot manually.	Try to recover by moving the Robot into Auto-Empty Station. Find the stored map in APP map storage, and press "use map" to recover. If this problem persists after trying the above solutions, please restart mapping.
3	Can't creat maps in APP.	The Robot doesn't start working from Auto-Empty Station.	The Robot must start cleaning from Auto-Empty Station.
		Move the Robot when it is working.	Don't move the Robot when it is working.
		Cleaning is not finished.	Allow the Robot return to Auto-Empty Station when it finishes the cleaning.
4	Unable to return to Auto-Empty Station.	The position of Auto-Empty Station is incorrect.	Please place the Auto-Empty Station correctly according to the chapter"Charging Robot" in user manual.

NO.	Issues	Possible Causes	Solutions
		Auto-Empty Station is powered off or moved by people.	Please ensure the Auto-Empty Station is powered on, and don't move Auto-Empty Station.
		The Robot doesn't start working from the the Auto-Empty Station.	It is recommended that Robot start cleaning from the Auto-Empty Station.
		The charging route is blocked. For example, the door of the room with the Auto-Empty Station is closed.	Keep the charging route clear.
5	Robot returns to the Auto-Empty Station before it has finished cleaning.	The room is so large that Robot needs to return to recharge.	Please enable Continuous Cleaning. For more details, please follow the App instruction.
		Robot is unable to reach certain areas blocked by furniture or barriers.	Tidy up the area to be cleaned by putting furniture and small objects in their proper place.
6	Robot is unable to charge.	Auto-Empty Station is not connected to power supply.	Ensure Auto-Empty Station is connected to power and the indicator is on.
		Robot's Charging Contacts are not connected to the Auto-Empty Station Charging Contacts.	Make sure that the Robot's Charging Contacts have connected to the Auto-Empty Stations Charging Contacts and START Button flashes. Check whether Robot's Charging Contacts and Auto-Empty Stations Charging Contacts are dirty. Please clean these parts according to the instructions in the chart "Maintenance" section.
		Battery temperature is too high or too low.	Please charge and operate the Robot in the temperature between 0-40 degree.
		Extended periods of non-use may lead to over-discharge of the battery.	We recommend using the product regularly. If extended periods of non-use result in charging issues, please contact customer service for assistance.
7	Abnormal noise during cleaning.	Side brush and Main Brush are entangled. Dust Box and filter are blocked.	It is recommended to clean the side brush, main box, dust box, filter, etc. regularly.
		The Robot is in max mode.	Change to standard mode.

NO.	Issues	Possible Causes	Solutions
8	Robot gets stuck while working and stops.	Robot is tangled with something on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	Robot will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove the obstacles and restart.
		Robot might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please set a physical barrier, or set a Virtual Boundary in the ECOVACS HOME App.
9	The following problems appear when Robot is working: disordered cleaning route, deviation from the cleaning route, repeated cleaning, or missing of small areas to be cleaned. (If there is a large area that has not been cleaned temporarily, Robot will automatically clean the missing area.).	The wires, slippers and other objects placed on the ground affect the normal work of the Robot.	Please tidy up the scattered objects on the ground such as wires, slippers before cleaning. If there is any area missing, Robot will clean the missing area by itself, please do not interfere (such as moving Robot or blocking the route).
		When the Robot climbs the steps, threshold and door strip, the driving wheel slipped with the ground, which will affect Robot's judgment on the environment of the whole house.	It is recommended to close the door of the area and clean the area separately. After cleaning, it will return to the starting point. Please rest assured to use it.
		Work on freshly waxed and polished floors or smooth tiles, resulting in less friction between the Driving Wheels and the floor.	It is recommended that you wait for the floor wax to dry before using.
		Due to the different house environment, the Robot can not enter some areas.	It is suggested to tidy up the home environment to ensure that the Robot can enter for cleaning.
		The TrueMapping Distance Sensor is dirty or covered.	Clean the TrueMapping Distance Sensor or uncover the objects on it.

NO.	Issues	Possible Causes	Solutions
10	The Auto-Empty Station can't collect dust when Robot returns.	Auto-Empty Station cover is open.	Close the Auto-Empty Station cover.
		Dust Bag is uninstalled.	Install dust bag and close the Auto-Empty Station cover.
		Robot is manually moved to Auto-Empty Station and Auto-Empty is not triggered.	Let the Robot returns to Auto-Empty Station automatically, don't move it manually.
		If "Do Not Disturb" mode is activated in ECOVACS HOME App, Auto-Empty Station does not collect dust automatically when the Robot returns.	Cancel the "Do Not Disturb" mode in ECOVACS HOME App, or start the dust collection manually.
		Auto-Empty Station detects that the dust collection efficiency is low.	Replace the dust bag according to "Maintenance" in user manual, and close the Auto-Empty Station cover. If App reminds that the dust bag is not full, reinstall it.
		If the above possible reasons have been ruled out, there may be an abnormality in the components of the Auto-Empty Station.	Please contact after-sales service.
11	Dust Collection failed.	Auto-Empty Station detects that the dust collection efficiency is low.	Replace the dust bag according to "Maintenance" in user manual, and close Auto-Empty Station cover. If App remind that the dust bag not full, reinstall it.
		The outlet of dust box is blocked.	Take out the 2 in 1 Module, and clean the dust box outlet.
12	The inner side of Auto-Empty Station is dirty.	Fine particles penetrates the dust bag and sticks on the inner side of the Auto-Empty Station.	Clean the inner side of the Auto-Empty Station.
		The dust bag is broken.	Replace the dust bag.

NO.	Issues	Possible Causes	Solutions
13	Dust leakage occurs during working.	The outlet of Dust Box is blocked.	Take out the 2 in 1 Module, and clean the Dust Box outlet.
14	Robot reservoir drops out of place during use.	The reservoir is not correctly installed.	Make sure ROBOT reservoir clicks into place when installing.
15	Driving wheels are blocked.	Driving wheels are blocked by foreign objects.	Please rotate and press the driving wheels to check whether there is any foreign object wrapped or stuck. If there is any foreign object, please clean it in time. If this problem persists, please contact Customer Care for help.
16	Robot does not perform Continuous Cleaning.	The Robot is in Do Not Disturb mode.	In Do Not Disturb mode, Robot does not perform Continuous Cleaning.
		The Robot did not automatically return to the Auto-Empty Station last time.	Continuous Cleaning is not performed when you manually recharge Robot or move it to Auto-Empty Station.
17	Robot does not clean automatically at the scheduled time.	Time Scheduling function is cancelled.	Reset appointment.
		The Robot is out of power.	Charge the Robot.
		The Robot is in Do Not Disturb mode.	In Do Not Disturb mode, Robot does not perform scheduled cleaning.

If you cannot solve the issues by following the above instructions, please contact after-sales service.

5. TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	DLX32
Rated input	20V === 1.2A
Charging time	4-5 hours
Docking Station	CH2319
Rated input	100V ~ 50-60Hz, 6.75A (Emptying), 0.65A (Charging)
Rated output	20V === 1.2A
Laser Lidar	5V=== 200 mA 940 nm

Output power of the Wi-Fi module is less than 100mW.

Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.

Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com/global>.

Ecovacs Robotics Co.,Ltd.

No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.